

「行動と学習のチェックリスト（学童用）」

- 「行動と学習のチェックリスト」文部科学省での助成を受け、平成 29 年度から「学習上の支援機器等教材活用評価研究事業」として作成したものです。
- 本チェックリストの対象は学童（小学校 1～6 年生）です。
- 本チェックリストは、指導者が支援が必要であろう児童生徒の理解を深め、支援の一助とするためのものです。
- 障害の判別や診断結果を表すものではありません。

記入方法・記入上の留意点

- 領域は「学習」「多動」「不注意」「社会性」の 4 つです。
- 各領域の質問項目において「ない」「まれにある」「ときどきある」「よくある」の中から該当するものにチェックをつけてください。
- すべてのチェックが終わったら、「ない」「まれにある」「ときどきある」「よくある」のそれぞれの列の点数を合計した後、4 列全ての点数を合計します。
- 総計の得点が基準値以上であれば、支援が必要である可能性が考えられます。

<記入例>

多動(7項目)

以下の問いについて、一番あてはまると思う選択肢の数字を○印でかこんでください。

	ない	まれにある	ときどきある	よくある
1 シャベリ過ぎたり音を立てたりと、静かに活動に取り組むことができない	1	2	③	4
2 質問や指示が終わる前に答えたり、活動にとりかかろうとする	1	2	3	④
3 他人を妨害したり、邪魔をする	①	2	3	4
4 順番を待つことが難しい	①	2	3	4
5 周りの人が嫌がることでも、配慮しないで言う	1	②	3	4
6 早合点や、飛躍した考えをする。	1	②	3	4
7 話を聞いているときに周囲の話声や音、騒音に注意がそら	1	2	③	4
	①	②	③	④
合計	2	4	6	4
	①+②+③+④			
	16 点			

*10点以上：行動面において困難が疑われます。精査の実施を検討しましょう。